

一般教育訓練明示書

(1/3)

講座の名称	【通信制】介護福祉士受験対策講座														
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)														
指定講座番号	1	3	0	2	1	—	1	7	1	0	0	2	—	3	
講座の創設年月日	教育訓練給付金対象講座 の指定期間					過去一 年の講 座実績		入講者数(累積) (152人)					修了者数 (132人)		
平成26年7月1日	令和5年3月31日まで														
	6ヶ月							総訓練時間							
1. 教育訓練目標															
①取得目標とする資格の名称、目標レベル								介護福祉士							
②①に係る資格・試験等の実施機関名称								国家資格							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等								(1) 特別養護老人ホームや介護老人保健施設の介護職員など、主たる業務が介護等の業務である方、介護保険の指定訪問介護事業所の訪問介護員(ホームヘルパー)などで、介護等の業務に従事(在職期間が3年以上、実働日数が540日以上)した方 (2) 高等学校又は中等教育学校(専攻科を含む)において、福祉に関する所定の教科目及び単位を修めて卒業した方 (3) 特例高等学校(専攻科を含む)において、福祉に関する所定の教科目及び単位を修めて卒業した後、介護等の業務に従事(在職期間:9ヶ月以上、実働日数:135日以上)した方							
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況								介護福祉士は、居宅サービスの事業所で、訪問介護員、通称、ホームヘルパーとして働きます。 また、サービス提供責任者といった、ホームヘルパーのリーダー的存在になって活躍することもできます。デイサービスも居宅サービスに含まれ、デイサービスの介護職員も介護福祉士の職場です。 その他下記のようなものもあります。 ＜施設サービス＞ 特別養護老人ホームや老人保健施設などで介護福祉士は活躍しています。 ＜地域密着サービス＞ グループホームでは認知症の利用者を対象にして介護も行われています。 ＜障害者分野＞ 居宅介護では、在宅で暮らす障害者に訪問介護のサービスを提供します。 グループホームでは社会自立を目指して利用している人、施設サービスを利用している人など、個々の障害に応じてサービス提供 障害者施設は身体障害者療護施設、重症心身障害児施設などもあります。							
2. 教育訓練の内容															
教科 (カリキュラム)								時間				使用教材名			
第1章 人間と社会:教程1 人間の尊厳と自立								2時間				テキスト 合格の法則(第1章)			
第1章 人間と社会:教程2 人間関係とコミュニケーション								2時間				テキスト 合格の法則(第2章)			
第1章 人間と社会:教程3 社会と理解								10時間				テキスト 合格の法則(第3章)			
第2章 介護:教程1 介護の基本								8時間				講義DVD (5巻)			
第2章 介護:教程2 コミュニケーション技術								2時間				模擬試験問題(5回分)			
第2章 介護:教程3 生活支援技術								20時間				介護福祉士「ビタリ予想」テキスト+模擬試験			
第2章 介護:教程4 介護過程								2時間							
第3章 こころとからだのしくみ:教程1 発達と老化の理解								4時間							
第3章 こころとからだのしくみ:教程2 認定症の理解								16時間							
第3章 こころとからだのしくみ:教程3 障害の理解								2時間							
第3章 こころとからだのしくみ:教程4 こころとからだのしくみ								14時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)															
①受講するに当たって必要な実務経験等								特になし							
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準								特になし							
③その他								特になし							

一般教育訓練明示書

(2/3)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 昨年度内の受講修了者数	132	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	81	人	受験率(②/①)	61.4	%
③ ②のうち合格者数	81	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	81	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数		81人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	64人	②A:就業者計	81人	
	2 非正社員、派遣社員	17人			
	3 その他の就業(自営業等)	0人			
	4 学生	0人	②B:非就業者計	0人	
	5 求職中	0人			
	6 その他(主婦、無職等)	0人			
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	69人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	81人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	5人			
	3 社内外の評価が高まる	3人			
	4 円滑な転職に役立つ	0人			
	5 趣味・教養に役立つ	3人			
	6 その他の効果	1人			
	7 特に効果はない	0人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0人			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0人			
	4 趣味・教養に役立つ	0人			
	5 その他の効果	0人			
	6 特に効果はない	0人			
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0人			
	4 就職していない	0人			
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	14人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	81人	
	2 おおむね満足	58人			
	3 どちらとも言えない	8人			
	4 やや不満	1人			
	5 大いに不満	0人			
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		添削問題にて60%以上の得点を得ていること。			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数		なし			
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
通信教育の添削問題をすべて提出し、60%以上の得点を得ていること。					

一般教育訓練明示書

(3/3)

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		受講生の習熟度・理解度は添削問題で計測し、受講期間内にすべて合格レベルに達するまで再提出を課している。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)			
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	ヒューマンアカデミー株式会社 (代表者名: 川上 輝之)		
住所及び連絡先	東京都新宿区西新宿7-5-25西新宿プライムスクエアビル2階 TEL: 03-6692-3035		
施設名称及び施設長名	ヒューマンアカデミー (施設長: 五月女 芳男)		
住所及び連絡先	東京都新宿区西新宿7-5-25西新宿プライムスクエアビル2階 TEL: 03-6692-3035		
給付制度担当部署・者	学務課 (担当者: 門間 文義)		
連絡先	TEL: 03-6692-3035		
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 48,000 円		
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	0 円	
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。)	48,000 円	
③ 両方可能		(うち、必須教材費 0 円)	
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 0円		
	① 副読本代 (税込額)	0 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	0 円	
	③ 施設維持費 (税込額)	0 円	
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額) 48,000 円		

〔特記事項〕

--